

一般会計 46億8,465万7千円



スマート IC
利用してね。



「健幸」「美力」「安全・安心」を 重点に予算計上

令和3年第1回美里町議会定例会が、3月2日から19日までの18日間の日程で開催されました。この議会では、令和3年度の一般会計及び特別会計等（6会計）予算のほか、令和2年度一般会計等の補正予算、条例の一部改正等を可決しました。また、議員7名による一般質問が行われました。

令和3年度予算の主な施策

令和3年度は、第5次美里町総合振興計画後期基本計画により、今後の町づくりにおいて成果が強く望まれる、「健幸」「美力」「安全・安心」の3つの分野に関する施策を重点プロジェクトと位置付け、「住民一人ひとりが誇りを持って暮らせる美しの里」という将来像の実現に向けた、各種事業の予算が計上されました。

主な事業については、妊娠・出産・子育て関係では、産後ケア事業や「ミムリン出産祝金」による支援の拡充、「子育て包括支援センター」の機能強化、町立小中学校の給食費の無償化、教育関係では、GIGAスクール構想に

基づいた、各小中学校での一人1台端末を活用した授業や「プログラミング教育」の実施、また、コロナ禍での外出自粛などによる健康二次被害を防止し、健康を維持できるよう「ミムリン健幸ポイント事業」を主軸としたヘルスケア事業、がん検診などの各種検診、フレイル予防の事業、町管理河川の土砂浚渫工事や農業用ため池の改修工事等の予算が計上されました。



フレイルとは、健常から要介護へ移行する中間の段階をいいます。



令和3年度



歳入

町税16億1364万円、地方消費税交付金2億4288万円、地方交付税8億5722万円、国庫支出金5億2688万円、県支出金3億7543万円、町債3億5132万円などが主な財源です。

歳入の前年度対比の主な状況は、町税が1億566万円（個人・法人町民税が5759万円、固定資産税が4551万円の減）、国庫支出金が2452万円、繰入金が1億1339万円の減となっています。一方で、地方交付税は2638万円、県支出金が2654万円、町債が2021万円の増となっています。

歳出

総務費7億3085万円、民生費15億481万円、衛生費4億366万円、農林水産業費3億8200万円、土木費3億609万円、教育費

4億9014万円、消防費2億112万円、公債費4億4330万円が主なものです。

歳出の前年度対比の主な状況は、民生費が障害者福祉事業の増などにより1587万円、農林水産業費は、土地改良事業がため池の改修工事等が増加したことにより、2084万円の増、また、公債費が防災行政無線デジタルシステム更新工事や東児玉小学校のトイレ改修工事等に伴う起債の償還額が増加したこと

より6834万円の増となっています。

一方、土木費がスマートIC整備事業や道路新設改良事業の減により1億4771万円の減、教育費が東児玉小学校のトイレ改修工事が終了したこと等により6295万円の減、また、美里町消防団第5分団車庫・詰所建築工事が完了したことにより、消防費が5655万円の減となっています。

令和3年度 会計別当初予算額 () 内は対前年度比

一般会計	46億8,465万7千円	(96.3%)
特別会計	30億9,712万7千円	(103.9%)
国民健康保険	13億9,057万8千円	(105.4%)
下水道事業	2億130万4千円	(128.0%)
農業集落排水処理事業	2億8,250万6千円	(103.2%)
介護保険	10億9,713万3千円	(99.9%)
後期高齢者医療	1億2,560万6千円	(95.2%)
水道事業会計	5億2,132万8千円	(97.8%)
総合計	83億311万2千円	(99.1%)

